

第35期中間期

ビーイング通信

平成30年4月1日 ➡ 平成30年9月30日

3-4

株主の皆様へ

売上高が前年同期比25.0%増、
純利益は2.7億円となりました

5-6 子会社インタビュー

7 連結財務ハイライト

8

トピックス

来年1月、TOCコンサルティング部門を
分社化

11月、子会社「プラスバイプラス」が新商品を
リリース

9-10 会社概要／株式の状況

感謝・感恩・報恩

APPRECIATION

GRATITUDE

RETURN THE FAVOR

建設関連事業

建設業界の業務フロー全体を支援する「建設ICTソリューション」

積算ソフトのシェアNo.1（※）を誇るGaiaシリーズを筆頭に、建設業様向けソフトを販売しています。計画、入札、収支管理、書類作成、工程管理などの業務フローを総合的に支援する多種多様な商品群は、高い評価を得ています。

創業以来培ったノウハウを基に、ソフト間のデータ連携、ダウンロードサービスの充実、正確なデータの迅速な提供、お客様にご満足いただけるサポートサービスなど、時代の変化やニーズにあわせ、たゆまぬ改善活動を続けています。

※「積算ソフト利用実態調査」「建設ITガイド2007」（一般財団法人経済調査会）

Gaia10

BeingProject-CCPM
Critical Chain Project Management

BeingCollaboration®

BeingBid
Bid management system

BeingBudget

評点PLUS+

BeingCollaboration PM

コアバリューについて

ビーイングのたゆまぬ歩みの礎となり、絶えず適切な方向へと導く源泉となってきたものが、創業以来のコアバリューである「感謝・感恩・報恩（感謝の気持ちを忘れず、恩を感じ、恩に報いる、の意）」です。ビーイングの企業理念・倫理規定として社員一人ひとりに確実に受け継がれており、事業運営の中核となっています。

海外展開へ

2013年、オフショア開発拠点としてミャンマーに子会社を設立しました。現地の優秀な人材を採用し研修を実施、日本語・技術とも順調に習得しております。今後さらに研鑽を積み、高い技術力を誇るプログラマー集団に成長することで、グループ全体の開発力強化に寄与してまいります。また、TOC関連ソフトの海外向け販売も拡大中。欧米・アジア各地の製造業をはじめとしたお客様にご利用いただいております。

TOC関連事業 想定外を想定内にするプロジェクトマネジメントサービス

TOC-CCPM理論に対応した国産初のソフトウェアで、技術・サービス・システム開発など様々なプロジェクトの工程管理や、経営改善に効果を発揮します。国内外の約800社（製造・サービス・IT業など多業界）に採用され、プロジェクト管理ツール市場においてシェア No.2（※）を獲得しています。

TOC専門部隊による経営改善に向けたコンサルティングサービスを、管理用ソフトウェアとあわせて提供させていただくスタイルでご好評をいただいております。

※「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」（株式会社富士キメラ総研）



TOCとは

1970年代後半にイスラエルの物理学者故エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱、1984年に同博士が執筆した小説仕立ての解説書「The Goal」によって世界的に普及しました。DBR、思考プロセス、CCPMなど目的に応じたソリューションを持ち、世界中の企業から多くの成功事例が報告されています。

設備関連事業 「どこでも、誰でも」を実現する 水道・電気設備申請支援CAD

電気・水道設備の工事業者様向けのソフトウェアで、主に子会社であるプラスパイプスが販売。工事図面、見積書・申請書類の作成に効果的です。ビーイングとプラスパイプス互いの強みを活かし、より幅広いサービスを提供しています。

plusCAD 水道

plusCAD 電気α

ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第35期中間期時点での当社事業内容および当中間期の状況についてご説明申し上げます。

代表取締役社長 末広 雅洋



売上高が前年同期比25.0%増、 純利益は2.7億円となりました

当社グループでは、前期からの数年間を商品開発に集中的に取り組む商品開発ステージと位置づけており、当中間期においても研究開発活動に積極的に取り組んでまいりました。

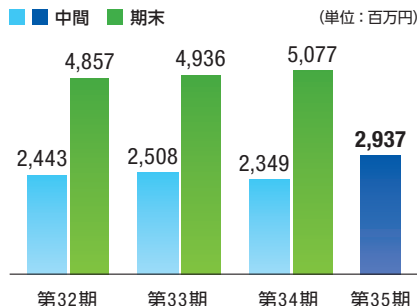
売上面では、昨年10月に主力商品のバージョンアップ版を投入したことから、当中間期においても更新需要を着実に取り込み、堅調な販売が続いております。

この結果、当中間期の売上高は、前年同期に比して25.0%増加し2,937百万円となりました。

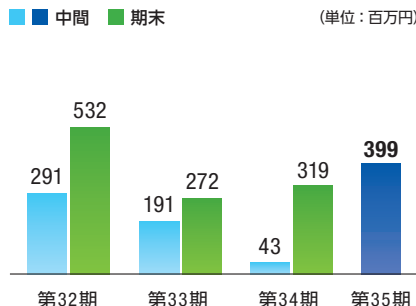
コスト面では、引き続き研究開発や商品開発に積極的に資金を投下しており、当中間期の研究開発費は前年同期に比して56.6%増加し199百万円となりました。

この結果、経常利益は416百万円(前年同期比835.5%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、273百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益8百万円)となりました。

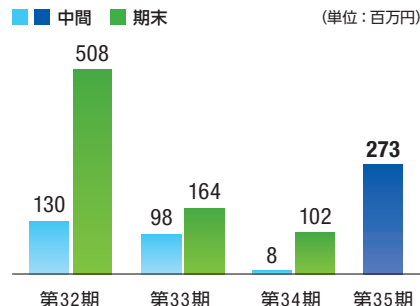
売上高



営業利益



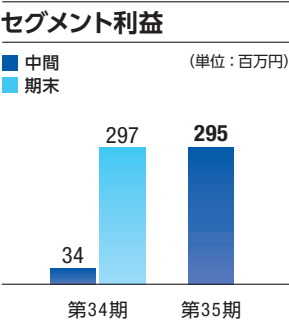
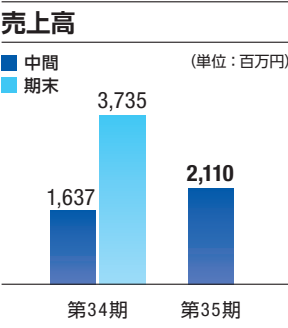
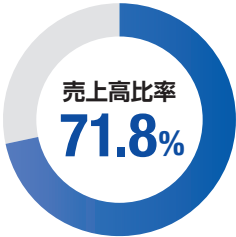
親会社株主に帰属する当期純利益



建設関連事業

建設関連事業につきましては、昨年10月に土木工事積算システムの新バージョン『Gaia（ガイア）10』を投入したことにより、当中間期においてもバージョンアップ効果が継続しております。比較期間である前中間期が、バージョンアップ前の販売が低調であった期間ということもあり、当中間期の売上高は、前年同期に比して28.9%増加し2,110百万円となりました。

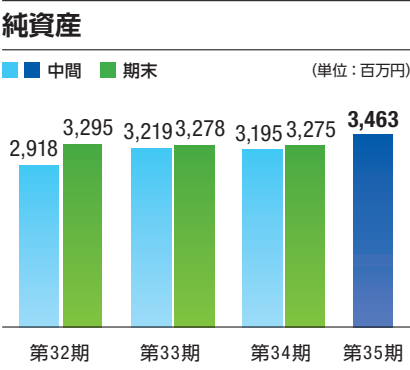
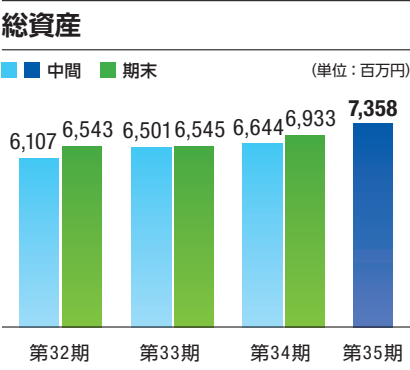
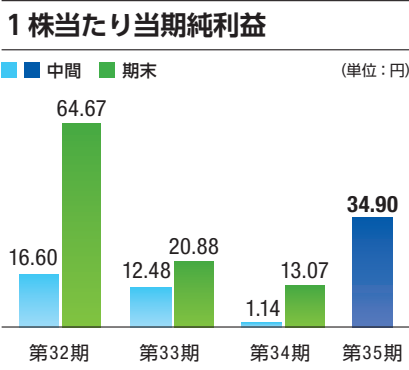
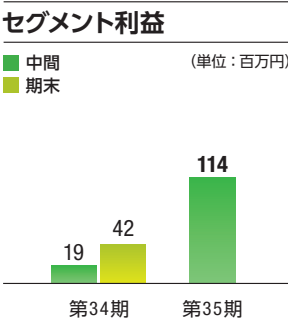
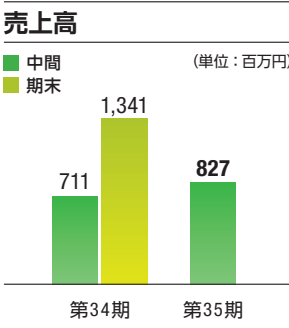
利益面では、研究開発投資などのコスト増加要因はあったものの、当中間期のセグメント利益は295百万円（前年同期比760.0%増）となりました。



設備関連事業

設備関連事業につきましては、前期から取り組んできた販売店とのリレーション強化の効果が現れ、当中間期の売上高は前年同期に比して16.2%増加し827百万円となりました。

利益面では、販売促進費などのコスト見直しを進めた効果もあり、当中間期のセグメント利益は114百万円（前年同期比494.1%増）となりました。





株式会社プラスバイプラス
代表取締役社長 室田 茂樹

Q 01 お客様である設備業界の現状をお聞かせください

設備業界は、継続的な金融緩和による緩やかな景気拡大、東京オリンピック関連の建設需要や補助金からの設備投資の増加、各地で起こった災害からの復興需要などの影響により堅調です。一方で生産年齢人口の減少に伴い、設備業界も深刻な人手不足の影響を受けており、今後いかには建築設備業界全体の更なるイメージアップと、業務の効率化が必須だと思っています。我々が提供しているCADソフトや管理ソフト、コンサルティングが設備業界の生産性向上に大きく貢献できると信じています。

Q 02 新商品『要 ～KANAME～』について教えてください

プラスバイプラスの『plusCAD』は発売から18年になります。8,000社以上のお客様とのお付き合いの中で、我々はたくさんのお悩みを解決してきました。中でも多かったのが「仕事は増えても利益が出ているかわからない…」といった経営の根幹に関わるお悩みです。お悩みを一気に解決し、業界をより豊かにするため『要 ～KANAME～』を開発しました。

一言で言うならば『要 ～KANAME～』は、お客様の経営分析・生産性向上・利益拡大を目的とした一元管理システムです。見積・請求・日報等、日々の業務に関わる各種データを工事台帳に集約させることで、現場ごとの収支・利益をリアルタイムに把握できます。経営上で必要な数字を視える化することによって、的確な経営判断を強力に支援します。



各拠点のメンバーが一丸となって全国のお客様をサポートいたします。

Q 03 今後の展望は?

「設備・建設業界」の総合支援企業を目指します。業界に広く認知されている『plusCAD』だけではなく、当社だからこそできる事業を推し進めます。

具体的には、建設業に特化したコンサルティング、業界の中小零細企業の経営者に寄り添った、問題解決メソッドを提供します。また、お客様自らがWebを活用して仕事を獲得でき、同時に自社のブランド価値を上げられるよう、業界に特化したHP作成やWebコンサルティングをご提供することによって、経営者の皆様をサポートします。18年間お世話になっている設備・建設業の発展のため、今後も事業に取り組んでまいります。



サポート部セッションの様子です。

Q 01 自己紹介をお願いします

日本語でお話しさせていただきます、オンマーでございます。私はミャンマー人です。ヤンゴンという街に住んでいます。2008年にヤンゴンコンピュータ大学を卒業し、大学の国際言語研究部(NLP Lab)で開発者として2014年1月まで働きました。2014年4月にビーイングミャンマー社に採用され、今日まで開発部のマネージャーとして働いています。建設分野やパッケージソフトについて初めて知って、知識が増え、日本の企業文化にも感銘を受けてきました。ビーインググループの理念、行動指針に即してお客様により良い製品を提供できるように皆と一緒に頑張っています。当社は、ミャンマーの発展のため貢献しているので、自分の努力が母国の発展に役立ち、嬉しいです。これからも宜しくお願い致します。



メンバーが増えました。定例の打合せ風景です。

Q 02 会社の現状をお聞かせください

現在、開発部では、従業員を3グループに分けて開発しています。新入社員はほぼ新卒採用で、半年間の研修期間を設け、会社の開発作業や知識を先輩たちが教えています。入社1年以内に基礎知識が増えて、設計書入出力オプションプロジェクトを任せることができるように



困っていると、必ず仲間が助けてくれます。

Being(Myanmar) Co.,Ltd.

開発部長

ミョー・オンマー・モン

2014年入社時から日本語を学ぶ
オンマー氏。インタビューは日本語
でお答えいただきました！



なっています。また、日本語でやり取りできるようになるため、毎日の朝礼を日本語で発表して、練習しています。会社の目標を達成するため、改善する必要がある箇所があれば皆で話し合って決めます。ビーイング本社からの依頼を把握できない場合、日本語で細かく確認します。勘違いや間違っ理解してしまうこともあるのですが、お互いに協力して解決しています。

Q 03 開発組織として、今後の目標は？

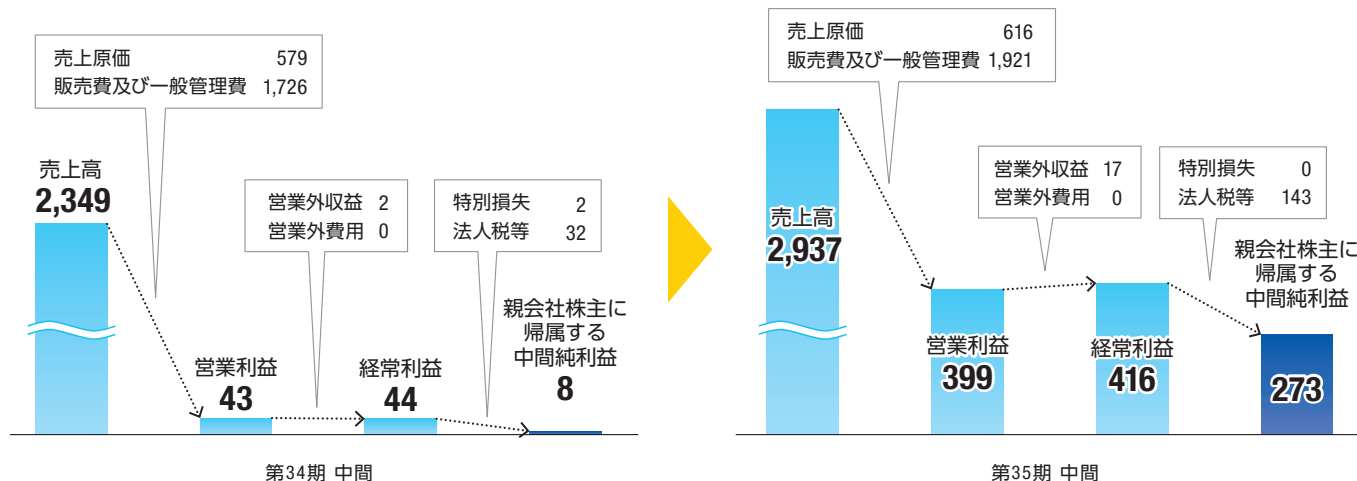
開発については建設分野の知識、計算方法についての考え方、仕様の理解が必要であると思います。開発者は、開発言語はもちろん、依頼の把握、分野の知識を身に付けるため、すべて情報共有しています。開発組織としては、ビーイングからの依頼や仕様の通りに開発できる開発者が増えていくように、また、システム開発については、日本の技術者たちと一緒に開発できる環境を作っていきたいです。そのために日本語でよくコミュニケーションができる開発者を育て、リーダーたちがプロジェクトをうまくリードできるように育てていきます。お客様に喜んでいただける製品を提供できるように頑張ります。



年に1度の社員旅行の様子です。ビーチで並んで撮影しました。

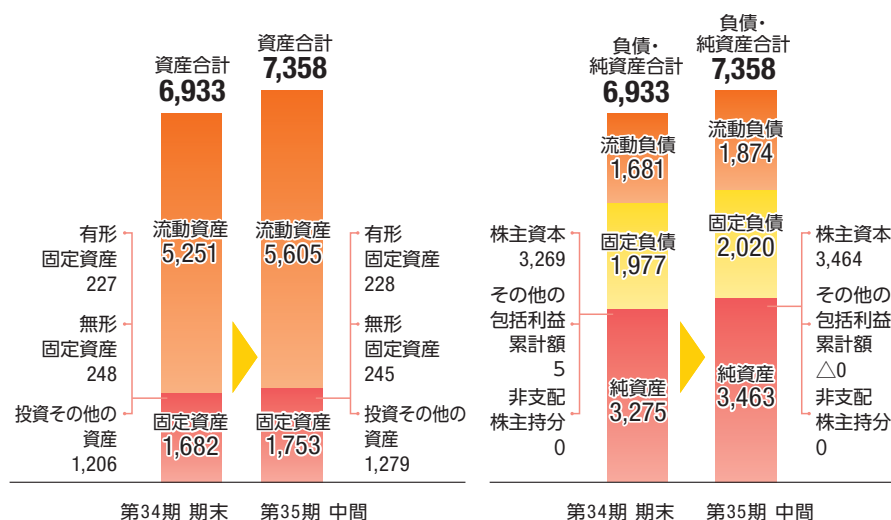
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



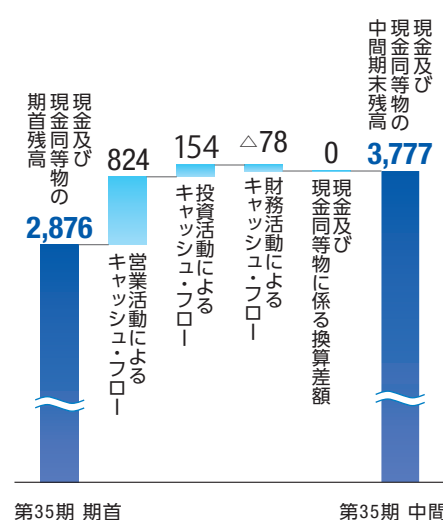
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



来年1月、TOCコンサルティング部門を分社化

来年1月、組織改善のコンサルティング部門を分社化し、「株式会社ビーイングコンサルティング」として、100%子会社を設立することを決定しました。代表取締役社長には、ビーインググループ創業者である津田能成が就任予定です。

当社では、TOC理論を用いたプロジェクト改善への取り組みを長年続けてまいりました。現在はソフト（CCPMソフトウェア『BeingManagement3』）とコンサルティングサービスを組み合わせて提供させていただいております。おかげさまで、国内外のお客様への導入が進み、順調に販売を伸ばしております。

コンサルティングサービスに特化したプロ集団として、さらに質の高いサービスを提供することで日本のものづくりを力強くリードしてまいる所存です。ぜひご期待ください。

会社名：株式会社ビーイングコンサルティング

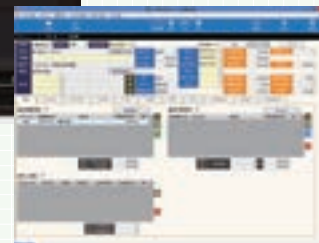
住所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目2番4号 新宿喜楓ビル7F

代表取締役社長：津田能成

11月、子会社「プラスバイプラス」が新商品をリリース

11月、子会社である株式会社プラスバイプラスが新商品『要 ～KANAME～』をリリースしました。

工事の現場情報を一元管理できる機能を備えたシステムで、当社とプラスバイプラスとの業務提携により開発されました。プラスバイプラスが長年培ってきた設備業界における技術ノウハウと、当社の高い開発技術力を組み合わせることで開発が実現しました。日報に基づき自動計算される労務費から正確な工事費用を把握し、適正価格での見積提出などで利益を最大化させます。また、現場ごとの収支をリアルタイムに共有することで経営を透明化できます。スマートフォンを活用した日報入力機能で生産性向上にも繋がります。



会社概要

商 号	株式会社ビーイング (Being Co.,Ltd.)
所 在 地	本 社 三重県津市桜橋1丁目312番地 TEL 059-227-2932 (代表)
設 立	昭和59 (1984) 年9月18日
資 本 金	1,586,500,800円
従 業 員 数	248名
主 要 事 業	建設業向けアプリケーション …土木工事積算システム、情報共有システム、 見積・実行予算システム TOC関連アプリケーション …工程管理システム、サプライチェーン・マネジメント・システム
子 会 社	(株)プラスバイプラス …設備業向けCADソフトウェアの販売 Being (Myanmar) Co.,Ltd. …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングDC …コンピュータソフトウェアの開発



本社



営業所 (出張所)



役員

役 職	氏 名	担 当	他の法人等の代表状況等
代表取締役会長	津田 能成		(有)トゥルース 代表取締役 (株)プラスバイプラス 取締役会長 Being (Myanmar) Co.,Ltd.代表取締役 (株)ビーイングDC 代表取締役会長
代表取締役社長	末広 雅洋		(株)プラスバイプラス 取締役
常 務 取 締 役	後藤 伸悟	経理部長	(株)プラスバイプラス 監査役 (株)ビーイングDC 監査役
常 務 取 締 役	井関 照彦	データ開発部長	(株)プラスバイプラス 取締役
取 締 役	藤谷 章一	商品管理部長	
取 締 役	津田 誠	事業企画部長兼 建設開発部長	
社 外 取 締 役 (監査等委員)	大矢 勝		
社 外 取 締 役 (監査等委員)	橋本 隆司		東海土建(株) 相談役
社 外 取 締 役 (監査等委員)	楠井 嘉行		楠井法律事務所 所長 三重交通グループホールディングス(株) 社外取締役
取 締 役 (監査等委員)	津田 由美子		(有)トゥルース 取締役

株式数および株主数

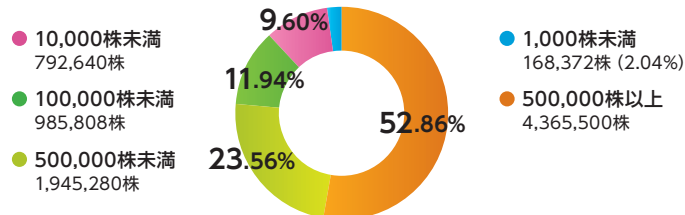
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,257,600株
株主数	1,256名

大株主

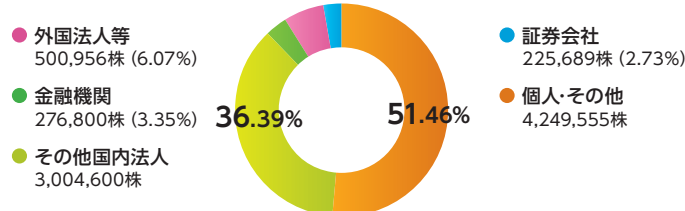
株主名	持株数	持株比率
有限会社トゥールース	2,850,000株	34.51%
津田 能成	1,515,500株	18.35%
株式会社ビーイング	431,160株	5.22%
津田 由美子	380,200株	4.60%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	347,000株	4.20%

所有者区分別株式分布状況

所有数別



所有者別



WEBサイトのご案内

当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

<http://www.beingcorp.co.jp/>

株式会社ビーイング IR 検索

トップページ



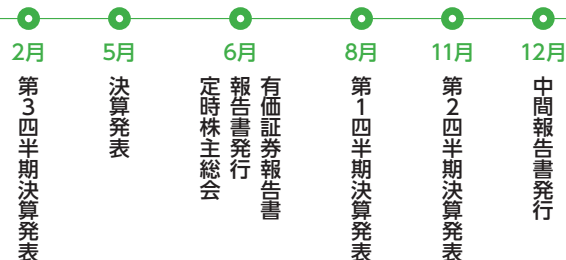
「IR情報」トップ



- 業績ハイライト
- 個人投資家の皆様へ
- 株式について
- IRライブラリー etc.

今後のIRスケジュール (予定)

当社では迅速かつ正確な情報開示を心がけるほか、投資家の皆様に向けたさまざまな活動も行っています。以下は当社の今後のIRスケジュールになります。ご参考の上、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。なお、予定は予告なく変更される場合がございます。



株主メモ



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 毎年3月31日
(その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日)

期末配当金
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金
受領株主確定日 毎年9月30日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話番号：0120-232-711 (通話料無料)
郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子公告
※ただし、電子公告によることができないやむを得ない事
由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告の掲載
電子公告の掲載ホームページアドレス
<http://www.beingcorp.co.jp/>

銘柄コード 4734

*株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

*特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎします。